

2年課題研究(人文科学課題研究Ⅰ・課題研究・課題探究Ⅱ)

「失敗」を評価するルーブリック

失敗の活かし方	研究に妥当性をもたす	具体的に考える	修正する	気づく
① テーマ、RQ設定、仮設の軌道修正	テーマの問題点を根拠にも基づいて <u>説明でき</u> 、より <u>具体的で実現可能</u> 性のあるものに <u>修正</u> できている。	テーマの問題点を根拠にも基づいて <u>説明でき</u> 、より <u>具体的なものに修正</u> できている。	テーマの問題点を <u>把握し</u> 、より <u>具体的なものに修正</u> できている。	テーマの問題点を <u>把握できてい</u> ない。
② 研究手法、調査方法の再考	研究方法の問題点を根拠にも基づいて <u>説明でき</u> 、足りない視点や見落としを <u>修正する</u> ための具体的な調査研究を <u>再考</u> できている。	研究方法の問題点を <u>把握し</u> 、足りない視点や見落としに <u>気づき</u> 、調査研究の <u>再考</u> ができている。	研究方法の問題点を <u>把握し</u> 、足りない視点や見落としに <u>気づくこと</u> ができる。	研究方法の問題点を <u>把握できてい</u> ない。
③ 分析・考察の再考	得られた情報から客観的に解釈し、分析した情報やデータの解析結果に基づき、 <u>論理的</u> な <u>主張</u> ができる。	得られた情報から客観的に解釈し、分析した情報やデータの解析結果に基づいた <u>主張</u> ができる。	分析した情報やデータの解析結果に基づいた <u>主張</u> ができる。	分析した情報やデータの解析が <u>できてい</u> ない。